

独自の断熱層設計で薄くて暖かい

保温インナー

今回見つけたアイテムは、『保温インナー』。独自の断熱層設計により、高い保温性を実現し、軽い運動時や日常生活で使用するのに適したアンダーウェアだという。早速、ミズノ株式会社を訪ねた。

『保温インナー』は保温と汗の吸収・発散を兼ね備えたアンダーウェアです。薄くて暖かいミズノ独自の断熱設計の素材を新たに開発しました。高い保温性を実現しておりまして、肌との接触面に水分、汗が残りにくいので、スポーツ後の汗によるべたつきや汗冷えを抑えられるのが特長です。表面に保温性に優れ、静電気を抑制するマイクロアクリル紡績糸、肌面は起毛加工をした断熱性に優れた



『保温インナー』

男性用

長袖シャツ1,995円(税込)、半袖シャツ1,785円(税込)、
ロングタイツ1,995円(税込)

女性用

長袖シャツ1,995円(税込)、ハイネックシャツ1,995円(税込)、
ロングタイツ1,995円(税込)

問い合わせ：0120-320-799 (ミズノお客様相談センター)

ポリプロピレン加工糸で構成することで、より高い保温効果を得ています。簡単な生地の手組みとしては、肌面のポリプロピレン加工糸が保温と吸水の役割をし、外側のマイクロアクリル紡績糸が断熱と水分の発散をするという二重構造ですね。また、抗菌防臭性に優れていますので、菌の増殖を抑え、気になる匂いの発生を抑えられます。軽い運動をする時はもちろん、日常生活でも使って頂ける薄くて暖かいアンダーウェアというのがコンセプトです」と語る広報宣伝部東京広報宣伝課の布施夏七子さん。

寒くなってくると、ウォーキングやランニングなど軽い運動を

しようと思っても、家から出るのが億劫になってしまう。また、寒さで体がこわばった状態で運動をすると、怪我などの可能性も高そうだが、高い保温性と汗の吸収・発散を兼ね備えている『保温インナー』を着ると、スポーツ前から暖かさを保ったまま外に出られ、汗をかいた後、汗冷えの心配も軽減されるというところか。いくら寒いとはいえ、着ぶくれするのは避けたいというユーザー意見も考慮し、薄いというのもうれしいまた、運動時の動きを考慮して、タイツの股部分にマチを設けるなど動きやすいパターン設計になっている。コンセプト通り、運動時だけでなく、日常生活でも重宝しそうだ。ミズノは以前より、吸湿発熱素材の開発に着眼していたというからも商品への信頼性は高い。

「ミズノでは、1994年の冬より吸湿発熱素材『ブレスサーモ』を他社に先駆けて開発し、あらゆるスポーツシーンに対応する商品ラインナップを取り揃えていまして、1997年からは、アンダーウェア商品も展開しています。『ブレスサーモ』は人体から発生する水分を吸収して発熱効果をもたらし新しい保温メカニズムで、『ブレスサーモ』の吸湿発熱した空気を繊維間に取り込み保温するため、衣服内をドライで暖かな状態にします。『保温インナー』は『ブレスサーモ』の発熱機能を省き速乾保温に重点を置いて開発しました。2010年秋冬シーズンは、吸湿発熱素材『ブレスサーモ』使った商品が一番寒い時に、『保温インナー』を軽スポーツ時や日常生活で着用して頂くアイテムとして、温度と着用シーンで差別化し展開していきます」と語る布施さん。

確かに、発熱機能があるアンダーウェアは、とても寒い日に運動するのはよいが、さほど寒くない日に着用して軽い運動をしようと、必要以上に熱くなってしまいそうなイメージがある。そこで新しく開発されたのが『保温インナー』ということか。利用シーンを考慮し、経験と実績に裏打ちされた商品開発力には説得力がある。

最近多く発売されている保温アンダーウェアの中でも、いち早く吸湿発熱素材に着目し、冬のスポーツシーンでの利用を考慮して開発を進めるミズノの新しいアイテム『保温インナー』は、冬の快適なスポーツシーンはもちろん、日常生活にも温もりをもたらすアイテムなのかもしれない。